



⊗ 市民と議会をつなぐ

# 議会だより

〔第75回多久山笠〕(JR多久駅周辺)

2023

第58号

令和5年  
9月定例会



# 令和5年9月定例会

令和5年9月市議会定例会は9月1日から9月25日まで（会期25日間）開かれました。

今回は8人の議員が市政一般に対する質問を行いました。

9月定例会では、市長から提出されました議案22件（条例5件、予算4件、決算9件、その他4件）の議案について審査し、いずれも原案どおり可決したほか、意見書1件を可決しました。

## 議案質疑

提出された議案について、議案の提出者（市長が議員）に対して、議案の内容や提案の理由などについて疑問点や不明な点を尋ねること

### 古賀 公彦



（令和4年度決算について）

#### ■防犯灯設置補助金について

Q 事業の詳細は。

A 自治会等が防犯灯を設置、またはLED化する場合に、その設置に要する経費の一部を補助する事業です。助成額は、支柱込みの新設で4万円、電柱等への新設で2万円、LEDへの交換で1万円が上限となっています。

Q 防犯灯の要望件数は、また予算を超えた場合にどうされているのか。

A 申請件数が46件、そのうち補助件数が27件です。予算を超える申請については次年度での再受付を行っています。

Q 令和5年度についてさらなる増額の検討はできないか。

A 令和5年度については10万円を増額し、50万円を予算計上しているところです。



### 香月 正則



（令和5年度9月補正予算）

#### ■鉱害対策費の鉱害施設維持管理に要する経費について

Q 収入が鉱害復旧費受託事業となっているがなぜか。

A 今回の復旧事業が現地調査の結果、特定鉱害復旧事業として認められたことから、復旧に係る費用は、全額特定鉱害基金の管理をしている佐賀県農業公社が負担することとなり、市が受託して事業を行うこととなります。

Q 復旧工事の詳細は。

A 陥没孔及び陥没孔の周囲に直径2.3メートル、約5センチ程度の沈下を確認しています。工事は、深さ約1メートル機械で掘削して、幅3メートル、厚さ25センチ程度のコンクリート床版を設置し、埋め戻す計画としています。

Q 今後同様なケースの場合にどのように対策を取っていくのか。

A 土地所有者に注意喚起を行い、速やかに復旧工事をしたいと思っています。また陥没についての啓発にも努めていきます。

## 多久市の防災について

**市丸** 多久市の災害備蓄品の備蓄の状況は。

**答弁** 人口の5%の3日分の食料を県と連携して備蓄しています。

具体的には飲料水1,768リットル、保存食3,071食、パン2,784食などを備蓄しています。

**市丸** 熱中症対策として、体育館の避難所には空調設備が必要なのでは。

**答弁** 現在スポットクーラーと大型扇風機を配置し、対応しています。

今年の暑さを考えますと、補助事業などの活用を含め、検討はしていく必要があると認識しています。

**市丸** 空調設備の整備までの間、校舎を避難所として活用できないか。

**答弁** 体育館のみならず、避難者の体調に応じて多目的室や特別教室、保健室などでの避難者の受け入れを想定していますので対応可能です。

**市丸** 消防団員の減少についての認識は。

**答弁** 全国的な課題であり、多久市においても、団員の確保が困難な状況は同様であると認識をしています。



市丸 勝義 議員

す。また今後、団員が減少することにより、火災時における出動体制に影響をしてくるので、組織の再編も含めて検討していく時期にあると考えています。

**市丸** 団員数の確保が喫緊の課題ではないか。

**答弁** 地域における安心と安全を確保するため、地域と危機意識を共有しながら、行政としても支援できる部分はしっかりと支援をしながら、地域と一体となる仕組みづくりを構築していく必要があると考えています。



## 通称「地域計画について」

**鷺崎** 地域計画と必要性を含めた評価について、地域計画のモデル地区と進捗具合はどうか。

**答弁** 市内6地区のうちモデル地区は、納所・東多久・多久町の3か所を計画し、現在目標地図作成に取り組んでいる。農業委員会の作成した素案を基に令和5年12月～1月頃に関係機関で協議を進めます。

**鷺崎** その評価は。

**答弁** 10年後の農地を誰が担うのか等の計画を、関係機関・各種会議を通じて協議し、令和6年度末までに策定します。

### 整備済み公園の整備目的と目的達成度評価について

**鷺崎** 住みたい町・子育てしやすい地域づくりを目指す中で、公園も遊具もない地域があります。公園のない地域での公園整備はどう考えているのか。

**答弁** 既存の公園整備維持を中心に、充実をはかっています。新たな公園の整備は現在考えていません。



鷺崎 義彦 議員

**鷺崎** 前回の回答では今後の課題として研究と回答された。その後進捗具合は。

**答弁** 現在のところ具体的計画に至っていません。今後も研究していきます。



多久市公共施設  
個別施設計画について

**田淵** 施設の建替え、維持管理等の費用について。

**答弁** 公共施設の建替えや維持管理費は国の補助金や起債を活用しています。しかし、上記の対象にならないもので緊急性があるものについては一般財源をもって対応しています。また、全国の自治体と協力し、国に対して公共施設施設等の集約化、複合化、転用及び除却に係る財政措置の拡充について要望を行っています。

**田淵** 本計画で待ったなしの施設や長期的に取り組む施設の対応は。

**答弁** 本計画では、計画期間を短期（1年～10年）、中期（11年～20年）、長期（21年～40年）と分けて施設毎の方針を定めています。この方針に基づき、今後は、施設の老朽状況、利用状況などを勘案し、あわせて地元との協議などを行い計画的に公共施設の適切な再配置を進めていく必要があると考えています。



田淵 厚 議員

**田淵** この計画で再配置としての複合化、集約化のビジョンは。

**答弁** 「多久市公共施設等総合管理計画」では、「保有資産の縮減・規模の適性化」「保有資産の長寿命化・機能維持」の2つの基本の方針を定めています。多久市公共施設個別施設計画では、総合管理計画の基本方針を踏襲し、個別の施設について一定の方向性を示しており、最適な配置検討ができると考えています。なお、40年後の目標は、現施設を40%削減としています。

ヒトパピローマウイルスワクチン  
(HPVワクチン) 接種について

**坂口** 子宮頸がんはヒトパピローマウイルスによって起こりHPVワクチンで予防できるとされている。多久市の接種の取り組みは。

**答弁** 平成22年から中学1年～3年までの女子を対象にHPVワクチン接種費用の助成を行っています。平成25年4月1日から平成25年6月までは小学6年から高校1年の女子を対象に定期接種として実施してまいりました。令和4年4月から定期予防接種と併せて、令和7年3月末まで、キャッチアップ接種として、高校2年から今年度26歳になる女性は無料で接種できます。

**坂口** 男性がHPVワクチン接種をする事で自身のHPV感染による疾病の予防、パートナーへの感染予防や社会全体での感染リスクの低下につながる。男性のHPVワクチン接種費用の助成は。

**答弁** 今後の国の定期化に向けた検討状況を注視していきます。



熱中症対策について

**坂口** 高齢者に対する熱中症予防は。

**答弁** 地域包括支援課の職員による高齢者宅訪問時には、部屋の温度管理、水分補給、一日3回の食事をとること、熱中症の症状があるときは我慢をしないで伝えるなど具体的な内容を繰り返し啓発しています。

**坂口** 学校での児童生徒への対策は。

**答弁** 水分補給ができる環境づくり、暑さ指数の計測、学校施設の空調整備の活用など、環境整備を通して事故防止に努めています。なお、各学校の冷水機の設置は中央校が2基、西深校が1基です。

**坂口** 熱中症を防ぐことは夏の社会的課題です。5℃から15℃の冷水は直腸温度の上昇を抑制し、体温を下げ熱中症予防に効果があります。水筒などに供給できる冷水機の設置の検討をお願いします。



坂口 絹代 議員

## SAGA2024国民 スポーツ大会について

**渡島** スポーツクライミング施設の現状、完成時期は。

**答弁** ボルダラー施設は6月にオープンしており、リードとスピードの施設は11月オープン予定、その後に附属棟や外構工事が行われ令和6年3月までにはすべての工事が完了する予定です。

**渡島** 予定出店数、給水排水の整備は。

**答弁** 10から20店舗を予定し、来春には募集を開始していきたいと思えます。また、発電機や給排水設備は出店者で準備していただくこととしています。

**渡島** ボランティアの申込状況は。

**答弁** 今現在は20人弱の申し込みとなっています。

**渡島** 多方面から意見を聞く予定は。

**答弁** 実行委員会を核とし、競技団体とは毎月会議を開催しています。また、観光協会、たく21などとも意見交換の場を設けています。



渡島 幸司 議員

**渡島** 独自の大会開催、合宿誘致は。

**答弁** 多久市では毎年聖廟釈菜記念大会を開催しているところですが、合宿の誘致に関しては環境を整備する必要があると考えています。

**渡島** スポーツを通じての地域活性化、青少年育成は。

**答弁** スポーツを教育の中に、あるいはまちづくりの中に置いた取り組みはとても大切だと思っております。多久市としても可能性を探りながら環境等の整備も考えながら臨んでいければと考えています。

## 多久市のふるさと納税について

**廣橋** 多久市のふるさと納税額の推移は。

**答弁** 令和元年度9億円、令和2年度8・5億円、令和3年度7億円。令和4年度は前年比約160%で、11・1億円と伸びています。

**廣橋** 返礼品競争などが激化し、国は10月から返礼品の地場産基準を厳しくし、経費率を50%以下に厳格化するなど変更を行うが、多久市の対応は。

**答弁** 過去平均、約51%が経費率となっています。返礼品の経費は、寄附額の30%以内です。今現在この率を下げる検討も行っていきます。全ての経費を50%以下にできるよう努めます。なお、本市の返礼品で地場産基準から外れるケースはほぼありません。

**廣橋** ふるさと納税の使途について。

**答弁** 11億円の寄附があった場合、残るのが50%で約5億5千万円、その内、例年2億5千万円は、寄附者の意向に沿った形で予算配分をしています。残った3億円の半分、1億5千万円は、市役所の各課から提案



廣橋 時則 議員

事業を募集して、行政サービスの向上に活用しています。残りの1億5千万円は、今後、突発的に必要となる事業の財源確保のために、ふるさと振興基金に積立てています。

**廣橋** 大分県の豊後高田市ではふるさと納税のほとんどを子育て支援に使い、9年連続で転入が転出を大幅に上回っている。多久市でもゼロ歳児から2歳児の保育料の無償化にふるさと納税を使うということは考えられないか。

**答弁** ゼロ歳から2歳児の保育園の無償化となれば県内初の試みですが、そういうことを行いながら、子育て世帯への支援、また、市外からの子育て世帯への移住につながるということも当然考えられますので、今後は定住政策の一環として参考にさせていただきます。

タクアの開業に伴う多久市や市民への直接的貢献度は

**彌富** コロナ前の民間経営下でも、同一業種で2回閉鎖を余儀された。この現実を当時、市はどう判断したのか。

**答弁** 閉鎖の原因は民間企業の経営であり詳細を把握していません。民間活力導入により市は大きな効果を期待できると判断しました。

**彌富** 旧ゆうらくの再開に際し市独自の経営検討をされたのか。何を根拠に判断されたのか。

**答弁** 運営業者の提案書を基に「持続可能な施設運営・多久市への寄与・事業計画の妥当性」の3点を11名で審査し選定しました。

**彌富** 市民の声は「用事もなく魅力も感じない・遠い・昼食も不可」等、市民に貢献しているのか。改善の検討委員会を設置してはどうか。

**答弁** 市民65歳以上と障がい者手帳交付者に一日一回を限度に入浴料割引があります。検討委員会設立は意見として聞きます。

**彌富** 将来、タクアを次の事業で利活用を検討してはどうか。



彌富博幸 議員

①県立大学や学校の誘致

②市庁舎及び合同施設

③研修施設専門

**答弁** 観光振興を図ることを重点事業と位置づけています。

**彌富** タクア温泉事業の継続をするために、市民の声に向き合い、責任ある取り組みをすべきではないか。

**答弁** 提起されたことを会議の場で運営業者に伝えて、又、関連しながら今後の企業誘致と、産業の振興にしっかりと取り組んでまいります。



多久市の医療費適正化について

**香月** 現在の取り組みは。

**答弁** 国民皆保険制度を維持していくためには、医療費が過大に増えないように取り組むことが重要で制度の持続的な運営を確保するため、都道府県が主体となり地域住民の健康維持と効率的な医療提供体制の構築に向けた指針や目標設定などをまとめたものが医療費適正化計画です。現在は平成30年度から令和5年度までの6年間を計画期間として、第3期計画が策定されています。当市では特定健診や特定保健指導などを実施し、健康保持の推進等を図っています。

**香月** 直近の受診率と保健指導率は。

**答弁** 令和3年度の特定健診受診率は、佐賀県平均の39・5%に対し多久市は60・1%、特定保健指導の実施率は、佐賀県平均の61・1%に対し多久市は75・3%といずれの実施率も全国2位と高い実施率となっています。また、糖尿病重症化予防を最優先課題とし健診結果の重症度に関わらず説明会や家庭訪問など個別の保健指導も行っています。

**香月** 後発医薬品の使用促進について。

**答弁** 後発医薬品使用率の促進を図るため、被保険者のご理解の下、保険更新時に後発医薬品を希望するシールを配布し意思表示いただく取り組み、後発医薬品を利用時の自己負担軽減見込額を差額通知書送付にて知らせる取り組みを実施しています。他にも、市報などで広報を行います。



香月正則 議員



# 審 査 報 告

## 総務文教委員会 閉会中審査報告

閉会中継続審査事件について次のとおり報告します。

### ◆地域公共交通について

7月12日の委員会で、社会生活に適應した移動手段になっているのか、ふれあいバスの拠点施設が必要ではないか、新公立病院までの移動手段の確保等の意見がありました。

### ◆定住対策について

多久市独自と思う施策を考えてもらいたい、子育てに対する政策の充実ができないか、補助金頼みでの定住政策には限界があり、他の切り口での検討が必要ではないか等の意見がありました。

次に8月2日の委員会では、地域公共交通、定住対策について、担当課より現在の状況について数値等を用いて説明を受け、課題や問題点について意見交換を行いました。

今後も引き続き審査を進めてまいります。



## 総務文教委員会 審査報告

◆多久市職員給与条例及び多久市技能労務職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例

◆多久市税条例の一部を改正する条例

◆多久市公民館設置条例の一部を改正する条例

◆多久市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

◆佐賀県市町総合事務組合規約の変更について

以上、5議案について、慎重に審査した結果、全会一致で可決すべきものと決定しました。

## 産業厚生委員会 審査報告

◆多久市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

について、慎重に審査した結果、全会一致で可決すべきものと決定しました。

## 予算特別委員会 審査報告

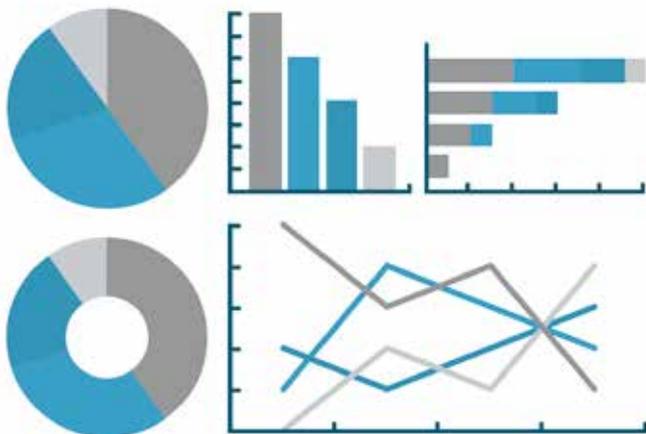
◆令和5年度多久市一般会計補正予算(第4号)

◆令和5年度多久市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

◆令和5年度多久市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

◆令和5年度多久市下水道事業会計補正予算(第2号)

以上、4議案については、慎重に審査した結果、全会一致で可決すべきものと決定しました。



# 決算特別委員会報告

## 決算特別委員会 審査報告

決算特別委員会が付託を受けた以下の9議案については、慎重な審査及び現地踏査の結果、予算編成の目的に沿って執行されていることを認め、原案どおり認定すべきものと決定しました。

議案乙第22号	令和4年度多久市一般会計 歳入歳出決算の認定について
議案乙第23号	令和4年度多久市給与管理・物品調達特別会計 //
議案乙第24号	令和4年度多久市土地区画整理事業特別会計 //
議案乙第25号	令和4年度多久市公共下水道事業特別会計 //
議案乙第26号	令和4年度多久市農業集落排水事業特別会計 //
議案乙第27号	令和4年度多久市宅地造成事業特別会計 //
議案乙第28号	令和4年度多久市国民健康保険事業特別会計 //
議案乙第29号	令和4年度多久市後期高齢者医療特別会計 //
議案乙第30号	令和4年度多久市病院事業会計 決算の認定について

### 《令和4年度の施策について》

#### 空き家の適正な管理に要する経費

(975万7千円)

- 不良住宅除去費補助金として、7件への補助

#### 池田学動物画利用に要する経費

(5,109万2千円)

- 池田学氏の「動物画シリーズ51点の購入、T.A.Q.U.Aでの展示会の開催



#### 市民活動推進事業 (470万円)

- コミュニティ助成事業として、3地区への助成



#### 地域公共交通運行事業

(2,939万9千円)

- 市内ふれあいバス令和4年度の利用者数は、25,417人でした
- ふれあいタクシー令和4年度の利用者は530人でした

#### 子ども医療費助成事業

(5,702万9千円)

- 0歳児から高校生までの医療費の助成

#### 新型コロナウイルス予防接種

(8,794万4千円)

- 新型コロナウイルス感染症防止のための、ワクチン接種

#### ■新型コロナワクチン接種者数 (令和5年5月7日現在)

	12歳以上	小学生・児童	乳幼児
1回目	15,185	262	10
2回目	15,108	251	7
3回目	12,935	93	4
4回目	6,920	12	-
5回目	5,919	-	-

#### 道路維持修繕

(5,104万円)

- 道路愛護助成金において地域の皆様にご協力いただきました71行政区(152件)

#### 非常備消防費 (5,199万5千円)

- 東多久分団3部格納庫の新設
- 令和4年度 火災発生件数 建物火災4件/車両火災2件/林野火災1件/その他火災1件



#### 放課後児童健全育成事業

(5,893万7千円)

- 保護者が昼間家庭にいない児童に対し、授業の終了後、長期休暇等に適切な遊び及び生活の場の提供

#### 保健体育費

(2億7,254万8千円)

- 北多久町にグリーンパークを新設

## 《付帯意見として》

決算特別委員会として、今後改善あるいは検討を求める事項について、次のとおり意見を取りまとめ、今後の施策や予算に反映するなど、適時適切な措置を講じるように付帯意見しました。

### 歳入

・現在、ゴルフ場利用税交付金は一定の収入額で推移をしており、様々な事業に活用されているが、今後補助金として利用する際には、各種団体等に周知し、財源確保に努めること

・債権徴収等については、公平性が担保されるように、適正な債権管理に努めること

### 歳出

#### 【総務費】

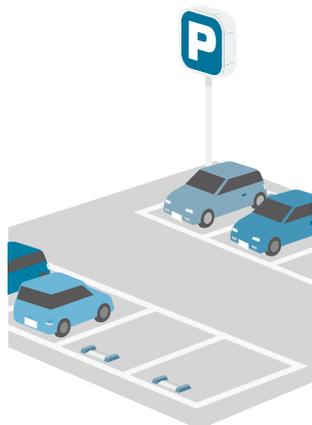
・「職員研修」については、幹部職員への登用や、職員の資質向上を目的に、早い段階から研修ができるように検討すること。併せて、研修のための予算は十分に確保し、人材育成に努めること

・「防犯灯設置補助金」については、市民の安全を守るために、防犯灯設

置申請数に対し予算が不足する分については、補正予算での対応を図るなど検討すること

#### 【商工費】

・「多久駅北駐車場」については、パークアンドライドも含め設置されているが、無料で利用ができ、長期駐車車両が見られる。公共施設の在り方の観点から、一部の有料化も含め検討すること



#### 【消防費】

・消防団本部ポンプ車の更新時には、市内の道路事情に考慮した、実情に合う利用しやすい車両で検討すること

#### 【教育費】

・「教育研究委託料」については、これまでの研究課題は概ね解決していると思われる。電子黒板等も早く導入しているため、新たなコンテンツ作成や活用、またタブレットを活用した授業など、その時に合った研究

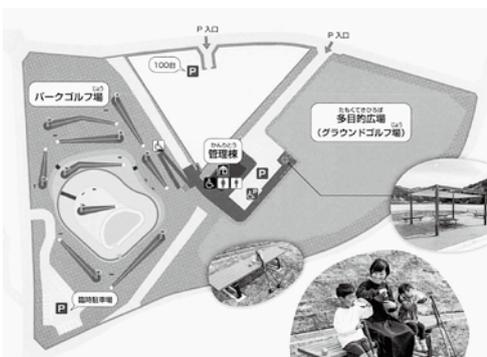
課題を検討すること

・「総合型地域スポーツクラブ育成支援事業補助金」については、総合型地域スポーツクラブとして多久スポーツピア設立22年を迎える。新たに市内の義務教育学校の部活動とも連携に取り組んでいるので、支援の在り方を検討すること

・最後に、除草、清掃、樹木伐採、消防設備点検などの共通する業務については、一括で契約を行うことで経費削減や業務専門性の向上が図られるか検討すること

## 《現地踏査について》

地域振興対策事業 スポーツ・レクリエーション施設整備等工事、庭球場照明設備改修工事、文化財埋蔵物収納テント倉庫新築工事について3箇所の現地踏査を行いました。



地域振興対策事業  
スポーツ・レクリエーション施設  
整備等工事

## 《付帯意見として》

スポーツ・レクリエーション施設のグリーンパークについては、競技団体と意見交換等を行い、環境の充実を図り、利用者の増加に努めること。

議員団からは、休憩や日よけになるような物を設置できないか、季節に応じた利用時間の検討、照明設備の検討等の意見がありました。



文化財埋蔵物  
収納テント倉庫新築工事



庭球場照明設備改修工事

# 意見書

## 「地方財政の充実・強化を求める意見書」を可決しました

地域公共サービスを担う人員は不足しており、疲弊する職場実態にある中、新型コロナウイルス、また多発する大規模災害への対策も迫られています。これらに対応する地方財政について、政府は「骨太方針2021」において、2021年度の地方一般財源水準を2024年度まで確保するとしていますが、それをもって増大する行政需要に十分対応し得るのか、大きな不安が残されています。

このため、2024年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立をめざすよう、以下の事項の実現を求めます。

### 記

1. 社会保障の維持・確保、人への投資も含めた地域活性化、デジタル化、脱炭素化、防災・減災、物価高騰対策、地域公共交通の再構築など、増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握するとともに、それを支える人件費を重視し、十分な地方一般財源総額の確保をはかること。
2. とりわけ、今後一層求められる子育て対策、また地域医療の確保、介護や生活困窮者の自立支援など、急増する社会保障ニーズが自治体の一般行政経費を圧迫することから、地方単独事業分も含め、十分な社会保障経費の拡充をはかること。とくに、これらの分野を支える人材確保にむけた自治体の取り組みを十分に支える財政措置を講じること。
3. 地方交付税の法定率を引き上げるなどし、臨時財政対策債に頼らない、より自律的な地方財政の確立に取り組むこと。また、地域間の財源偏在性の是正にむけては、所得税や偏在性がより小さい消費税を対象に国税から地方税への税源移譲を行うなど、より抜本的な改善を行うこと。
4. 引き続きの新型コロナウイルス感染症対策として、5類移行後におけるワクチン接種体制や保健所も含めた医療提供体制について、自治体での混乱が生じることのないよう、十分な財政措置やより速やかな情報提供などを行うこと。
5. 「まち・ひと・しごと創生事業費」の1兆円については、新たに「地方創生推進費」として2023年度も確保されているが、持続可能な地域社会の維持・発展にむけて、より恒久的な財源とすること。
6. 会計年度任用職員制度の運用については、2024年度から可能となる勤勉手当の支給も含め、今後も当該職員の処遇改善や雇用確保が求められることから、引き続き所要額の調査を行うなどし、その財政需要を十分に満たすこと。

(一部抜粋)

# 新人議員研修報告書

地方自治を支える有為な人材の育成がますます重要になるなか、毎年、全国市町村研修財団では新人議員を対象に高度で専門的な研修を実施されています。今回多久市の新人議員7人のうち、4人が参加しました。以下報告です。

.....

令和5年7月18日より3日間、滋賀県の全国市町村国際文化研修所（JIAM）へ参加しました。当市からは4人、全国から合計120人の一年生議員の研修です。

初日は静岡県立大学経営情報学部小西教授より地方自治制度と地方議会について講義を受け、事前質問の応答部分のレジュメを参考に意見交換を行ったり、地方自治法の基本的な条文を理解しその知見をどう活用するかなどを学びました。特に印象に残っているのは、他にも議員定数が地方自治法91条に基づき条例で定めることや、議員個人による請負に関する規制緩和などと自分でもどうかかな？と思っていたことが聞けて大変役立ちました。

2日目は全国市議会議長会企画議事部本橋謙治法制主幹の講義でした。現職ならではの視点で体験談や例を挙げながら分かりやすく教えていただきました。テーマは議会と議員、議員の身分と職責についてです。講義で自分が特別職ということを知り議会の役割や議員としての職務等について学びました。

そのあとは6人で班を作り議会活動につい

て意見交換し質疑をすることになり他の自治団体の問題や悩みなどを話し合いながら有意義な時間を過ごしました。グループ全員が広報委員会だったのでテーマを「議会だより」に絞りどう構成したら市民が議会での内容を理解してもらえるか、また堅い印象の冊子を老若男女、みんなが見たくなるように発信をしていくことなどを6人で考え悩み発表しました。

私が提案したのは多久市でも話し合ったフォントの変更や他市町の「議会だより」を参考にした分かりやすくポップで市民との距離感が近くなるような構成を発表に取り入れてもらい、日頃、委員会のメンバー、事務局と広報誌づくりに頑張っていることが実ったと嬉しかったです。

3日目は大正大学社会共生学部公共政策学科江藤俊昭教授の講義でした。

内容は地方議会の活性化と議員の役割についてです。江藤先生自身も市議会議員の経験があり本も出版されている方で、経験談や犬山市の議会で、市民の親子で女子学生の制服についてスピーチをしている動画を見ながら話しが始まりました。議会は閉鎖的ではなく、市民を巻き込み、首長や執行部に声を届ける事が大事といった事など議会改革について話されました。地方自治法第89条、議会の位置付けにおける議員の職務の規定に挿入で足された文言の意味や少数会派の悩みなど、終始議会改革を念頭に置き、議員間討議を重視すること。また、追認機関だけでなく首長と政

策競争し議会を作っていく重要性を最後に講義は終わりました。

3日間の研修を振り返って自分の役割や責任を再認識することができました。また、沢山の議員と交流できたことも財産になりました。この貴重な体験を糧にして、議員として日々精進していきたいと思えます。

多久市議会議員 1期生 尾形 武士



▲滋賀県の全国市町村国際文化研修所（JIAM）

「小利を見れば大利ならず」

「小利を見れば大利ならず」とは、小さな利益に目がくらむと大事は成就しないという意であろう。

この小利とは金銭の多少を意味する小さな利益という意味ではない。小利とはやはり目先だけの、その場その時だけの、また生きている時だけの利益にこだわる生き様を指すのであろう。今さえよければ、今さえ儲ければよいというそんな利益、例えば、人を騙したり、賄賂や人を苦しめて得たようなお金、そんな儲けはそれが百億だろうと、それは所詮小利でしかない。

したがって、小利は目の前の自分の欲望だけを満たそうとするやり方で身につけた利益をいうのである。悪銭身に付かずというが、たとえ身についたとしても、悪銭である限り小利に過ぎない。

それに反して、大利とは社会責任や他に対する配慮といった心の優しさから生まれた利益を大利と呼ぶのであろう。金は儲け得ずとも小利ではなく、顔淵（孔子が愛した最も優れた

た弟子）のように大利に生き、大事に目覚めて生きた人もある。人生の一大事について目覚めることもなく、大金持ちや大臣などと…たったそれくらいの小利に生きて人生を棒に振った人もいる。

人生の一大事とは何時でもどこでも、どんなことが起ころうとも、天命に安じながら、当たり前のように人事を尽くしていく…そんな一本道に求めることに命を懸けた。今、私たちは一大事を忘れ、そんな暇もお金もないと、それを遠ざけ小利を求め大損をしながら、自分の人生をせかせかと歩いていないだろうか。

▶顔淵（孔子が愛した最も優れた弟子）



論語大学について

かつて、私たちの郷土・多久は先人たちの努力により佐賀藩内はもちろん諸藩に先駆けて邑校・東原庫舎、そして聖廟を建立。この地に「文教の里」を作り上げた。今一度、私たちは先人たちの血のにじむような努力を思い起こし、その実行に努めるべきではないでしょうか。その願いを込め、元学校長 故・不二見達朗氏が30数年前に多久市報に連載寄稿した論語解説を復刻するものです。

令和5年度 第13回 多久市議会 議会報告会の開催のお知らせ

コロナ禍で3年間対面開催を見送っていましたが、議会報告会を下記のスケジュールで開催します。議案等の審議および審査の説明を行った後、参加者の皆様と意見交換を予定しています。「多久市政はどうなっているんだ?」「市民の意見は伝わり、市政に反映しているのか?」。多久市議会に対する疑問や励まし等々、この機会に是非、ご参加いただき議員にぶつけてください。ご来場を心からお待ちしています。

日程	会場	日程	会場
11月14日(火) 19時開始	東多久公民館	11月15日(水) 19時開始	納所交流センター
	多久町公民館		南多久公民館
	西多久町公民館		北多久公民館

